

令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年2月27日
函館市立本通小学校

1 本年度の重点教育目標

心優しい 本通の子

2 本年度の取組の重点

- (1) 学習指導要領の趣旨を具現化する特色ある教育課程の編成・実施
- (2) GIGAスクール構想による教育の質の向上
- (3) すべての子どもの学力保障
- (4) 地域とともにある学校づくり

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価
(1)学習指導要領の趣旨を具現化する特色ある教育課程の編成・実施	学習指導要領に基づくとともに本校の特色ある教育課程の編成・実施	a	重点教育目標「心優しい 本通の子」の実現に向け、学習指導要領に基づき教科等横断的な視点で教育課程を見直し、時数配当の重点化を図る。	A	B
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	b	授業改善に焦点を当てた校内研修を推進し、目標設定と振り返りを軸にした見通しをもって進める授業の充実を図り、子どもの主体性を伸ばす。	A	A
(2)GIGAスクール構想による教育の質の向上	一人一台端末等ICT機器の積極的活用による「分かる授業」の推進	a	ICT活用のコアチーム「ICTプロジェクトチーム」を機能させ、校内での活用を加速させるとともに、個別最適な学びと協働的な学びのさらなる充実を目指す。	A	A
(3)すべての子どもの学力保障	基礎・基本の定着、児童理解に基づいた指導内容の精選と指導過程の工夫	a	支持的風土の醸成された学級経営や授業を土台に、教師と児童の信頼関係を築き所属感を高め、自己理解を深めるための問いや授業過程の工夫改善を進める。	A	A
	特別支援教育の充実と不登校対策	b	特別支援委員会や子ども支援委員会等の特別委員会を適宜開催し、学びが困難な児童への支援の充実を図る。SSルームの活用やSCの効果的な活用を図る。	A	B
(4)地域とともにある学校づくり	CSの推進と、保護者・地域との連携	b	地域学校協働活動やPTA活動の在り方等を模索しながら、人材を掘り起こし、本校ならではの特色ある活動を推進する。	A	B

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。